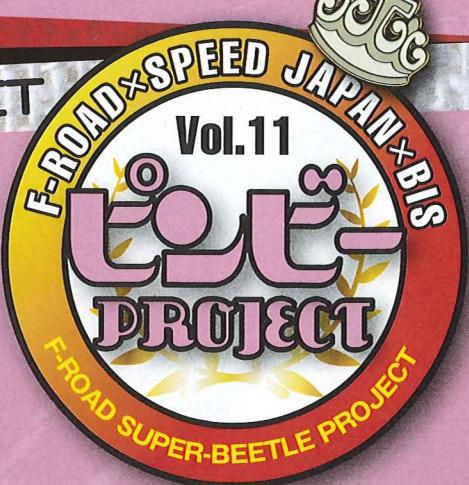


目指せ草レースの鬼!

ピンピー製作日記

F-ROAD SUPER-BEETLE PROJECT

ウインドウ装着!



先月ボディとシャシを合体させたけど、
今月は作業効率を図るため再分離。
メインメニューはウインドウの装着。
リアサイドウンドウはポップアップ式。
リアウンドウは軽量アクリルを装着する。

文●半谷範一 撮影●森口信之
取材協力●ベストインポートサービス TEL:048-282-6119

<http://www.vw-bis.co.jp>
スピードジャパン TEL:03-3555-8865
<http://www.speedjapan.co.jp/>
日栄自動車商会 TEL:024-534-9680
<http://auto.jocar.jp/nichiei/>



01 ボディとシャシがまた分離!?



前回、せっかくボディを載せたはずだったのに、今回取材に行ってみたらあっさり下ろされました。ブレーキ回りの配管等の作業を行うことを考えると、まだボディがない方がやり易いというのがその理由です。以前にも書いた通り、このクルマには75年モデル以降の「マルサン」に採用されていた、ラック&ピオニオンのステアリングラックを装着する予定。しかし、そのためにはロアアームも変更になります。右の写真の上側がラック&ピオニオン用のアーム。

**リアのサイドウンドウは
ポップアップ式を装着**
先月、ボディとシャシの合体が終わっており、今月の作業は以前に作っておいたアクリル製ウンドウの装着ということになりました。というわけで、3月上旬の某日にいつものBISにお邪魔したのですが…。あれ? またボディが下りていたぞ 笑)。
山崎社長に理由を聞いてみたところ、ブレーキや足回りの作業を行なうのに、やはりボディがない方がやり易い箇所がいくつかあったので、とりあえず下ろしてしまったとのこと。これでこのクルマとボディを下ろすのは3回目ということになりますね。

たとえフレームやシャシが分離できるような構造のクルマでも、普通のクルマじゃそこまでの作業を行なうのは、多額の費用をかけて本格的なフルレストアするときだけでしょう。大衆車レベルのクルマで、気軽に(というほどじゃありませんが)ここまで作業を行なうことが出来るというのは、VWビートルならではですね。

さて肝心のガラスの方ですが、今回若干計画の変更がありました。

ウンドウに関しては当初の計画通り、アクリル製のウンドウを使用するものの、リアサイドウンドウに関してはリプロダクションのポップアップ式を採用することにしたのです。

このポップアップ式ウンドウ、BISがサンプルを提供して某パーツメーカーが製作したもの。もちろんアクリル製よりは重くなりますが、夏の暑さをしのぐためには、これがあると無いとの違いは大違いますからね。詳しい作業内容に関しては、キャプションをご覧ください。

02

ポップアップ式ウィンドウの装着!



03

リアウィンドウ装着に四苦八苦都合3回トライして…

ウインドウはウェザーストリップによる固定です。まず最初にウインドウの周囲にラバーを装着し、その凹部に適度な太さの丈夫な紐(今は配線を使用)を押しこみます。次にウインドウの上側を先にはめ込み、紐をゆっくり抜きながらボディ側の縁の部分に噛み合わせて行きます。この作業、素人では一度ではうまく行かないのが普通で、今回も4回目で成功しました。リアウインドウは若干大きめに製作したため、作業前のサイズ合わせにひと苦労しました。

覗き見じやありません
ウインドウを押し込みます

アクリルのリアウインドウ
かなりの軽量化に成功です

総監督のB-I-S山崎父です
素人には任せられねー

またまた登場「オレ」だよ
働き者のライター半谷です

